

子どもたちの主体性を引き出す 発問にチャレンジしよう！

発問とは、教育や看護などの場面で、教育的な意図をもって行う問いかけや投げかけのことを指し、子どもたちの思考や認識をゆさぶり、新たな「知」を提供するきっかけづくりにもつながります。

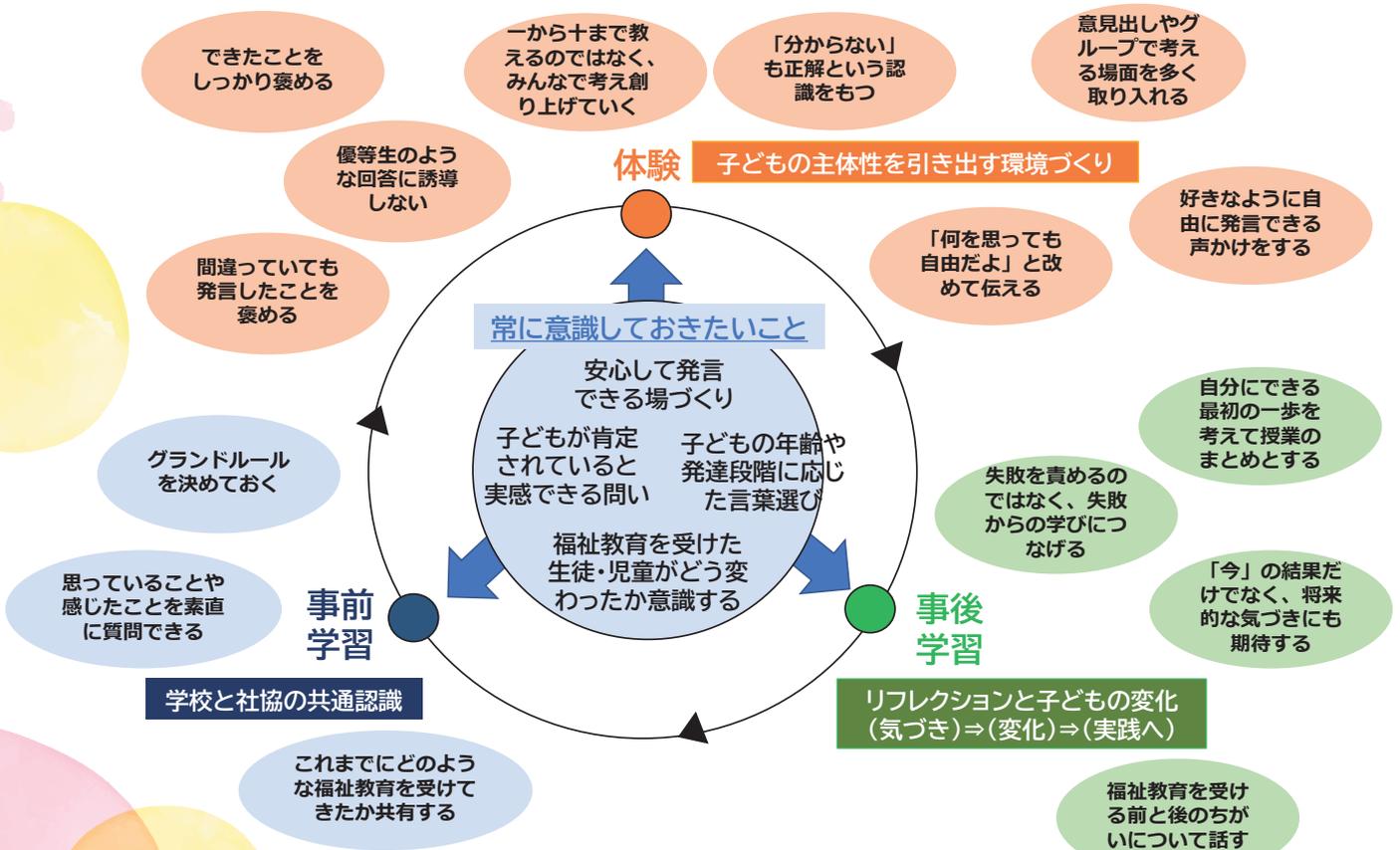
発問を考える際には、子どもたち全員が持っている主体性を奪わないこと、一旦受け止めること、「言ってもいいんだよ」という安心して活動に取り組める場づくりが重要です。例えば、体験がうまくできなくても、「本当はどうしたかったの？」と問いかけることで、子どもたちの主体性が引き出されます。

また、発問は、「**発問する前**→**発問するとき**→**発問した後**」の3段階で考え、**発問に答えやすい雰囲気**が作れているかどうかについても注意を払う必要があります。

同じ発問でも、口調やその場の雰囲気によって、子どもたちの反応や回答が大きく異なるため、「どんな発問をするのか」ではなく「**誰がどのような状況で発問するか**」が非常に重要です。先生と社協職員のそれぞれの専門性や強みを活かして、発問にチャレンジしてみたいはかがでしょうか？

発問を考える際の各段階でのポイント

～福祉教育ガイドブック作成検討会で挙げた参考例～



まずは、以下のことを心がけながら問いを考えてみてください。

発問をする前

- 自分を整える。自分がリラックスして一旦受け止める体勢を整える。
- 質問ではなく、尋問になっていないか留意する。

発問するとき

- 質問を投げかけるのではなく、そっと置くイメージ。
- “今すぐ答えが出せなくてもいい”という余裕を持つ。
- 答えたくなるような問いを心がける。



発問した後

- どんな答えも一旦受け止める。先生と社協と一緒にまずは「発問」を心がけながら実践し、振り返ることが大切。

きたじまのき代表 次世代リーダー育成コーチ 北島 一道 さん



それぞれの立場で考えて記述しましょう 話し合いにご活用ください

各コンテンツのなかで、誰がどのような状況で発問しますか？
子どもたちが答えやすい雰囲気づくりはどのように行いますか？
(発問後の子どもたちの反応もイメージしながらお考えください)

【事前学習】



【体験】



【事後学習】



先生と社協職員等のリフレクションで次につなげよう！

今回、福祉教育を実施してみて、いかがでしたでしょうか？

先生と社協職員と一緒に各ページのポイントをチェックし、リフレクション(内省)(7ページ参照)により客観的に振り返ることで、今後に活かしましょう。

◎とてもよくできた ○まあまあできた △あともう少し ↓

チェック項目		チェック欄
福祉教育とは	<ul style="list-style-type: none"> 「福祉教育とは何か」について理解できた。 福祉を身近に感じることができた。 	
 実践ポイント その①	<ul style="list-style-type: none"> 学校と社協で、思いや目的を共有できた。 実施前に身に付けさせたい力(目指す子ども像)を設定できた。 	
 実践ポイント その②	<ul style="list-style-type: none"> 全体のストーリー(流れ)を意識しながら実施できた。 特に「事後学習」に重きを置いて実施できた。 	
 実践ポイント その③	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの興味や関心、発達段階等に応じて、楽しく学べるようなコンテンツで子どもたちの主体性を引き出した。 	
 実践ポイント その④	<ul style="list-style-type: none"> 学校・教育/社協・福祉のそれぞれが持つネットワークを活かして、地域の人や団体と共に実践できた。 	
 実践ポイント その⑤	<ul style="list-style-type: none"> 発問やその際の雰囲気・環境づくりを意識し実践できた。 	

それぞれの立場で考えて記述しましょう 話し合いにご活用ください【リフレクション】

子どもたちの反応や気づきを通じて、学びの手応えや伝え方の効果を客観的に評価します。

- 【先生】
- 子どもたちはこの活動を通じて、どのような変化や成長があったと思いますか？
 - 福祉の視点を今後の学校教育にどう生かせると思いますか？

- 【社協】
- 子どもたちに福祉をわかりやすく伝えることはできましたか？
 - 子どもたちはどのような反応をして、どのような気づきが生まれていましたか？

- 【共通】
- 今後、福祉教育をどのような場面や教科で伝えることができると思いますか？
 - どのような地域の人や団体、行政等と福祉教育を展開していきたいですか？

岡山県版福祉教育ガイドブック

作成検討会 委員名簿

■ 令和6年度委員（※職名等は令和6年4月現在、以下敬称略）

- [委員長] 中井 俊雄 ノートルダム清心女子大学 准教授
- [副委員長] 森年 雅子 真庭市教育委員会 生涯学習課 郷育魅力化コーディネーター
- 難波 朋美 岡山県教育庁 義務教育課 指導班 指導主事(主幹)
- 新井 祐二 岡山県子ども・福祉部 地域福祉課 地域福祉推進班 統括参事
- 宇喜多良充 倉敷市社会福祉協議会 倉敷ボランティアセンター 主事
- 寺坂 弘昭 岡山県社会福祉法人経営者協議会 副会長(兼)
岡山県社会福祉法人経営青年会 会長

■ オブザーバー

- 塩見和可子 岡山県教育庁 生涯学習課 社会教育班 指導主事(主任)
- 山下 詩織 4年、松下 みゆ 3年、花本 茉那実 2年、原 麻莉奈 2年
ノートルダム清心女子大学 人間生活学部人間生活学科

■ ゲスト

・ 第2回検討会

- 住田 義広 玉野市立荘内中学校 校長
- 三城 智也 吉備中央町社会福祉協議会 地域福祉係 福祉活動専門員

・ 第3回検討会

- 上里 情 別府市社会福祉協議会(大分県) 地域福祉係 係長
- 北島 一道 きたじまのき代表 次世代リーダー育成コーチ

・ 第4回検討会

- 河邊 裕子 全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長
- 黒田 雄基 津山市社会福祉協議会 地域福祉課 福祉係 主任

※全5回開催。

■ 事務局(岡山県社会福祉協議会)

- 山下 泰三 地域福祉部 地域支援班 副部長
- 石井 慎一 地域福祉部 経営支援班 副部長
- 奥山 勝之 地域福祉部 地域支援班 主幹
- 濱田美沙子 地域福祉部 地域支援班 主事

その他お役立ち情報

(令和7年6月現在)

●全国の福祉教育関連資料一覧

(全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター)

福祉教育を進めるため、全国福祉教育推進委員会を設置して調査研究や研修企画・実施を進めるとともに、社会福祉協議会をはじめ、学校や社会福祉施設、そして地域住民のみなさんとともに福祉教育を進めるための資料を作成しています。福祉教育を進めるためにぜひご活用ください。



●「岡山型PBLガイドブック」

(岡山県教育委員会 義務教育課 令和5年3月作成)

県内の小・中学校において、児童生徒が地域の多様な「人・もの・こと」と関わりながら、主体的かつ探究的に学ぶための学習方法をまとめたものです。各学校の実態に応じて、本ガイドブックを活用ください。



●地域学校協働活動の推進

(岡山県教育委員会 生涯学習課)

県では、従来の「学校支援地域本部」等の組織体制を基盤とした「地域学校協働本部」を整備し、幅広い地域住民や団体等の参画を得て、ゆるやかなネットワークを形成しながら、子どもを核とした地域づくりを推進しています。



●岡山県社会福祉法人経営者協議会

(岡山県社会福祉協議会 経営支援班)

社会福祉施設の経営主体で、社会福祉法人等にかかわる基本的課題を調査検討し、かつ、その実践をはかり広く成果を関係者に供し、社会福祉の発展に寄附することを目的としています。「福祉の仕事PR動画」等も作成しています。



●福祉教育教材の貸出のご案内

(岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 長寿社会推進センター)

福祉への関心や理解を高めるための活動を促進するため、福祉教育教材を無料で貸出しています。お近くの市町村社会福祉協議会でも貸し出していますので、ご活用ください。



●夏ボラプログラムや市民・子どもたち向けのボランティア企画等のご相談

(岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 通称:ゆうあいセンター)

岡山県が設置し、岡山県社会福祉協議会と岡山NPOセンターが指定管理者として民間運営する施設です。市民の社会参画を推進するため、「ボランティア入門講座」をはじめ、市民や小中高生・大学生向けのボランティア等企画も行っています。夏ボラプログラムや出前講座等の企画についてお気軽にお問合せください。



みんなの「生きる」を
社会福祉法人



ゆうあいくん



センターくん

★本ガイドブックのデザインにご協力いただいたみなさま★

表紙 一般社団法人 岡山障害者文化芸術協会 尾崎 祥子さん

挿絵 社会福祉法人 津山みのり学園利用者のみなさん、玉野市立荘内中学校のみなさん、新谷 仁美さん、岡山県ボランティア・NPO活動支援センターボランティア彩り隊 ニッシー(西村 理恵子)さん



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
(岡山県版福祉教育ガイドブック作成検討会)

令和7年6月



本ガイドブックに
関するお問合せに

社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 地域福祉部

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ3階

TEL:086-226-2835 FAX:086-225-6602 E-mail:chiiki@fukushiokayama.or.jp

※本ガイドブックは右記のQRコード又は岡山県社協ホームページ

<https://www.fukushiokayama.or.jp/volunteer/education/about/> から

ダウンロードできます。

ぜひご活用ください。

